

**令和4年度  
事業主雇用実態・意向調査結果**

**帯広・南十勝通年雇用促進協議会**

## 令和4年度 事業主雇用実態・意向調査結果

### 1. 調査目標

季節労働者の雇用状況や事業所の雇用についての意向を把握し、今後の事業展開の基礎資料とするため。

### 2. 調査対象

季節労働者を雇用する事業所

### 3. 調査方法

帯広公共職業安定所よりご提供いただいた季節労働者を雇用している、または雇用していたことがあると思われる当協議会構成地域に所在する事業所及び協議会事業に参加したことがある近隣町村に所在する事業所に調査票、返信用封筒を郵送し調査協力を依頼した。また、未提出の事業所へ事業所訪問の際に直接協力依頼した。

### 4. 実施期間

令和4年6月1日を基準日とし7月29日を調査期限として実施した。  
また、調査期限以降も事業所訪問時に直接依頼した。

### 5. 回収目標及び回収枚数

回収目標を120社として実施し、85社から回答を得た。(70.8%)

### 6. 調査結果の概要

#### 【事業所の概要】

回答いただいた85の事業所のうち、業種では「建設業（総合工事業）」が47%、「建設業（職別工事業）」が39%と「建設業」が突出する結果となった。

「売上高」の動向では一番多い回答が「横ばい」で前年42%から61%に増加している。また、「減少傾向」は前年42%から23%に減少し「増加傾向」は前年12%から13%になっており、「減少傾向」からは脱しつつも「横ばい」が増加していることから厳しい経営状況から大きな改善とはなっていない状況がうかがえる。

経営上の悩みでは「社員の高齢化」22%、「募集しても人が集まらない」19%など人材面での悩みが前年と同じく多い。また、今回は「仕入れ価格上昇」が前年9%から15%になっており経営面での大きな負担となっている。

従業員数は「6～10名」が22%、「1～5名」が21%、「11～15名」が14%の順となり、回答いただいた事業所は比較的小規模事業所が多く、従業員数も「10名以下」の事業所が43%占めており、調査を始めて以降、同じ傾向にある。

また、従業員の雇用について「現状維持」が52%と多いが、「拡大」の意向も42%から46%へ拡大。具体的対策では「ハローワークへの求人」33%、「従業員などへの紹介依頼」31%、「求人情報誌への求人広告」17%と前回の調査結果と同じ傾向になった。

#### 【季節労働者の雇用動向及び通年雇用化について】

回答いただいた85社のうち季節労働者を雇っている事業所は75社(88.2%)、季節労働者数は576名で、一社平均7.7名であった。

一事業所が雇っている季節労働者数は「6～10名」が一番多く20%、次いで「1名」と「11～19名」がともに17%であった。年齢構成は「60代」26%、次いで「50代」21%とベテランが多く「20代」、「30代」の若手は合わせても21%と少ない状況にある。

季節労働者を雇用している理由では「積雪寒冷により事業の継続が困難だから」33%、「特定時期に業務量が増加するから」30%でこの二つが雇用理由としては多く、次いで「本人の希望だから」が26%で例年通りの傾向となった。

今後の季節労働者の雇用について「現状と同程度の雇用を維持する」が63%が一番多く、次いで「雇用を拡大する」が前年26%から32%に微増、「雇用を縮小する」は7%から3%に微減であり。雇用維持、拡大の方向が示された。

一方、季節労働者の通年雇用化について69%が検討しており検討していない31%を大きく上回っている。重視することは「必要な技能・資格を有すること」が前年に続き一番多かった。特に必要と考える技能・資格は①車両系建設機械(整地)②玉かけ③小型移動式クレーン④大型特殊免許などとなった。

過去の通年雇用化について「通年雇用したことがある」が前年の72%から45%と大きく減った。通年雇用化を行った理由では「いい人材を確保するため」が前年62%から68%と前年に続き一番多い結果となった。事業主が求める人材(必要な技能・資格を有すること)育成は、季節労働者の通年雇用化に結び付く大きな要因であり、さらなる技能向上に向けた取り組みが求められる。

また、通年雇用に伴う助成制度の活用では、「第三者に相談し検討」が42%、「自分で調べて検討」34%で合わせて76%が助成金の活用を検討しており、そのうちの76%が「通年雇用助成金」を活用している。また、助成金の相談では「社労士」への相談が69%、「ハローワーク」13%であった。

#### 【協議会及び協議会が実施する事業について】

協議会の存在に対する認知度は全体の90%で前年から大きな変化はない。

事業を利用している事業所は前年23%から25%に、今後利用する予定は6%から5%であり事業への参加、活用についても大きく変化はない。

実施している事業についての設問では、「経営相談事業」について「活用したい」6%、「活用を検討する」8%と活用希望の回答が少ない状況は前年と変わっていない。

ただ、前年一番多かった「相談する事柄がない」は25%から9%に減少し、「別機関に相談している」が16%から31%と一番多くなっている。このことは協議会として事業所から相談を受けるような関係性がないということであり、事業所訪問や周知活動の強化が求められる。

「事業主推薦による技能講習」では「参加させたい」21%、「活用について検討したい」29%、合わせると50%と前回調査と同じ状況にあり、事業参加に前向きな回答をいただいているだけに、事業主の意向や通年雇用化に結び付く講習など更なる調査・研究が求められる。今回調査で受講させたい教習は、「足場の組立て等」が11%(21社)、「地山掘削及び土止め支保工」が10%(19社)、「刈払機」が9%(17社)、「2級土木施工管理技士」8%(15社)、「足場の組立特別教育」14%の順であった。

参加者の拡大に引き続き事業所への聞き取りや調査結果をピンポイントで直接事業所に働きかけていくことが必要になっている。

人材育成事業の新たな事業メニューに向けての意見は少なく、新たに開設を求める声として集中したもの、突出しているものは今回調査ではなかった。

しかし、参加状況は頭打ちの状況にあり、今後とも事業計画に事業主をはじめ季節労働者、現場の声が反映できるよう取り組んでいかなければならない。

事業主雇用実態・意向調査集計表（令和4年度実施）

問1 貴社（事業所）の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）の所在地はどこですか

1. 帯広市	57	67%
2. 中札内村	1	1%
3. 更別村	3	4%
4. 大樹町	4	5%
5. 広尾町	5	6%
6. 音更町	6	7%
7. 幕別町	6	7%
8. 芽室町	3	4%
9. その他地域	0	0%
10. 無回答	0	0%
	85	100%

(2) 貴社（事業所）の業種は何ですか

1. 農業	3	4%
2. 林業	1	1%
3. 漁業	0	0%
4. 採石業、砂・砂利・玉石採取業	0	0%
5. 建設業（総合工事業）	40	47%
6. 建設業（職別工事業）	33	39%
7. 建設業（設備工事業）	2	2%
8. 食品製造業	0	0%
9. その他製造業	1	1%
10. 電気・ガス・水道業	0	0%
11. 運輸業	2	2%
12. 警備業	1	1%
13. 卸売・小売業	0	0%
14. サービス業	2	2%
15. その他	0	0%
16. 無回答	0	0%
	85	100%

(3) 昨年からの売上高の動向についてお伺いします。

1. 減少傾向	19	23%
2. 横ばい	51	61%
3. 増加傾向	11	13%
4. 無回答	3	4%
	84	100%

(4) 貴社（事業所）が抱えている経営の悩みや問題点についてお伺いします。（複数回答可）

1. 得意先の減少	4	2%
2. 仕事量が不安定	33	13%
3. 仕事の受注などの困難	16	6%
4. 低価格競争の激化	10	4%
5. コストダウンの困難	10	4%
6. 仕入れ価格上昇	39	15%
7. 消費需要の減少による売上減	6	2%

8. 資金繰りの困難	6	2%
9. 消費税等の増税	8	3%
10. 社員の高齢化	56	22%
11. 募集しても人が集まらない	48	19%
12. 採用してもすぐ退職する	11	4%
13. 社会保険加入問題	7	3%
14. その他	0	0%
15. 無回答	2	1%
	256	100%

(5) 新型コロナウイルスによる経営への影響について、どのような影響があったか教えてください。  
記載がある 25 社

問2 貴社（事業所）の雇用状況についてお伺いします。

(1) 今後の従業員数の意向についてお聞かせください。

1. 拡大	39	46%
2. 維持	44	52%
3. 削減	1	1%
4. 無回答	1	1%
	85	100%

(2) 「拡大」「維持」と答えた事業所は対応策としてどのようなことを実施又は検討していますか。

1. ハローワークへの求人	48	33%
2. 求人情報誌への求人広告	25	17%
3. 新聞への求人広告	10	7%
4. 従業員などへの紹介依頼	44	31%
5. 何もしていない	7	5%
6. その他	5	3%
7. 無回答	5	3%
	144	100%

(3) 貴社（事業所）の全従業員数は何人ですか。（季節労働者を含む）

	全従業員数	1749 名	
1. 1～5名	18	21%	
2. 6～10名	19	22%	
3. 11～15名	12	14%	
4. 16～20名	3	4%	
5. 21～25名	7	8%	
6. 26～30名	4	5%	
7. 31～35名	6	7%	
8. 36～40名	2	2%	
9. 41～50名	3	4%	
10. 51～60名	2	2%	
11. 61～80名	0	0%	
12. 81～99名	1	1%	
13. 100名以上	2	2%	
14. 無回答	6	7%	
	事業所数	85	100%

問3 季節労働者の雇用についてお伺いします。

(1) 現在、季節労働者を雇用している事業所数及び季節労働者数 75 社  
576 名

【季節労働者の人数】	事業所数	
1. 1名	13	17%
2. 2名	9	12%
3. 3名	5	7%
4. 4名	6	8%
5. 5名	9	12%
6. 6～10名	15	20%
7. 11～19名	13	17%
8. 20名以上	5	7%
9. 無回答	0	0%
	75	100%

【季節労働者の年齢層】	人数	
1. 10代	3	1%
2. 20代	49	9%
3. 30代	65	12%
4. 40代	92	16%
5. 50代	118	21%
6. 60代	145	26%
7. 70歳以上	91	16%
8. 無回答	0	0%
	563	100%

(2) 貴社（事業所）では、今後季節労働者の雇用についてどのように考えていますか。

1. 雇用を拡大する	24	32%
2. 現状と同程度の雇用を維持する	47	63%
3. 雇用を縮小する	2	3%
4. 無回答	2	3%
	75	100%

(3) 貴社（事業所）が季節労働者を雇用している理由についてお伺いします。（複数回答可）

1. 特定時期に業務量が増加するから	36	30%
2. 積雪寒冷により事業の継続が困難だから	40	33%
3. 雇用調整が容易だから	8	7%
4. 人件費が割安だから	1	1%
5. 簡単な仕事内容だから	1	1%
6. 人員の確保が容易だから	3	3%
7. 本人の希望だから	31	26%
8. その他	0	0%
9. 無回答	0	0%
	120	100%

(4) 現在、雇用されている季節労働者の通年雇用化について検討されていますか。(複数回答可)

1. 検討している	33	40%
2. 必要な技能・資格を有する者に限り通年雇用化を検討	15	18%
3. 若年層に限り通年雇用化を検討	9	11%
4. 検討していない	26	31%
5. 無回答	0	0%
	83	100%

(5) 季節労働者を通年雇用化するにあたり、重視することは何ですか。(複数回答可)

1. 必要な技能・資格を有すること	30	21%
2. これまでの勤務成績が良好であること	29	20%
3. 職場でリーダーシップを発揮できること	13	9%
4. 本人の希望が強いこと	14	10%
5. 経験・実績	29	20%
6. 人格・性格	24	16%
7. 若年であること	6	4%
8. その他	1	1%
9. 無回答	0	0%
	146	100%

(6) 雇用する季節労働者を通年雇用化する上で、貴社が必要と考える具体的な技能・資格について伺います。(複数回答可)

1. 大型免許	6	9%
2. 大型特殊免許	9	13%
3. 大型2種免許	0	0%
4. けん引免許	0	0%
5. 普通2種免許	0	0%
6. 中型免許	2	3%
7. フォークリフト	0	0%
8. 車両系建設機械(整地等)	12	18%
9. 車両系建設機械(解体)	3	4%
10. 小型移動式クレーン	9	13%
11. 玉掛け	10	15%
12. 高所作業車	4	6%
13. 不整地運搬車	2	3%
14. はい作業主任者	0	0%
15. 足場の組立て等作業主任者	2	3%
16. コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	0	0%
17. 地山掘削及び土止め支保工作業主任者	2	3%
18. 2級土木施工管理技士	5	7%
19. 2級建築施工管理技士	1	1%
20. 危険物取扱者乙種4類	0	0%
21. その他	0	0%
22. 無回答	0	0%
	67	100%



問4 貴社（事業所）における季節労働者の通年雇用化の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）で過去に季節労働者を通年雇用にしたことがありますか

1. 通年雇用にしたことがある	38	45%
2. 通年雇用にしたことはない	43	51%
3. 季節労働者を雇ったことがない	2	2%
4. 無回答	2	2%
	85	100%

(2) 通年雇用化した際の理由は何ですか

1. 通年雇用している労働者の退職に伴う補充のため	1	3%
2. いい人材を確保するため	26	68%
3. 業務が平準化したため	5	13%
4. 新分野進出、経営の多角化が軌道に乗ったため	1	3%
5. その他	5	13%
6. 無回答	0	0%
	38	100%

(3) 通年雇用に際し、助成制度の活用を検討しましたか

1. 自分で調べて検討した	13	34%
2. 第三者に相談し検討した	16	42%
3. 検討しなかった	9	24%
4. 無回答	0	0%
	38	100%

具体的には

1. ハローワーク	2	13%
2. 社労士	11	69%
3. その他	1	6%
4. 無回答	2	13%
	16	100%

(4) 検討した結果、通年雇用奨励金などの助成制度を活用しましたか

1. 通年雇用奨励金を活用した	22	76%
2. トライアル雇用助成金を活用した	0	0%
3. その他の助成制度を活用した	1	3%
4. 助成制度を活用できなかった	6	21%
5. 無回答	0	0%
	29	100%

活用できなかった理由の記載がある

4社

問5 「通年協促進支援事業」及び「事業内容」についてお伺いします。（○で囲んでください）

(1) 「帯広・南十勝通年雇用促進協議会」をご存知ですか。

1. 協議会を利用している	21	25%
2. 今後は利用する予定	4	5%
3. 協議会のことは知っているが、利用していない	51	60%
4. 協議会を知らない	9	11%
5. 無回答	0	0%
	85	100%

(2) 事業主の皆さんの通年雇用化に向けた各種相談に社会保険労務士が直接訪問し、ご相談に対応する経営相談事業についてお尋ねします。

1. 活用したい	5	6%
2. 活用を検討する	7	8%
3. 別の機関に相談している	26	31%
4. 相談する事柄がない	8	9%
5. 活用しない	23	27%
6. わからない	16	19%
7. 無回答	0	0%
	85	100%

(3) 通年雇用化を検討中の季節労働者に事業主の推薦で建設作業免許の無料講習を受講いただける技能講習事業についてお尋ねします。

1. 参加させたい	18	21%
2. 活用を検討する	25	29%
3. 活用しない	14	16%
4. 通年雇用化を検討していない	11	13%
5. わからない	14	16%
6. 無回答	3	4%
	85	100%

(4) 下記の講習会で、貴社に働く季節労働者に参加させたいものを選んでください。

(複数回答可)

1. 足場の組立て等作業主任者	21	11%
2. 地山掘削及び土止め支保工作業主任者	19	10%
3. 型枠支保工の組立て等作業主任者	8	4%
4. コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	4	2%
5. はい作業主任者	6	3%
6. 採石のための掘削作業主任者	3	2%
7. 足場の組立て特別教育	14	8%
8. チェーンソー	13	7%
9. アーク溶接	6	3%
10. 刈払機	17	9%
11. パソコン講習	5	3%
12. 2級土木施工管理技士	15	8%
13. 2級建築施工管理技士	6	3%
14. 農業系ドローン	3	2%
15. 空撮系ドローン	8	4%
16. 危険物取扱者乙種4類	4	2%
17. 介護職員初任者研修	1	1%
18. ない	32	17%
19. 無記入	1	1%
	186	100%

(5) 上記以外に資格や講習会など開催希望があれば具体的にご記入ください。

記載がある

4社

問6 協議会への要望、事業内容への意見、経営上の悩みなど、どのようなことでも結構です。協議会へ皆さんの声を寄せてください。

記載がある

7社

【記述部分】

問1 (5) 新型コロナウイルスによる経営の影響について、どのような影響があったか教えてください。

- ・現場がストップ（感染者、農耕接触、PCR検査などで）（帯広市・職別工事業）
- ・材料が手に入りにくい為、工期が遅れる（帯広市・総合工事業）
- ・お客様の収入減で工事が延期、中止など（帯広市・職別工事業）
- ・原材料などの仕入れが困難（幕別町・総合工事業）
- ・工事量減少（帯広市・職別工事業）
- ・仕事がキャンセルになることがある（帯広市・設備工事業）
- ・作業現場にてマスク、消毒など作業効率が悪くなり時間がかかってしまう（帯広市・総合工事業）
- ・売上げが減少した（帯広市・サービス業）
- ・昨年に木材の価格が上がり客先への同意が得られず予算が食い込む。昨年は赤字（帯広市・総合工事業）
- ・エアトック、検温器機、アルコール消毒機器、アクリル板、抗原検査、他コロナ経費がかかった（帯広市・総合工事業）
- ・職員の突発的な欠勤の補充対応（帯広市・総合工事業）
- ・売上げ減少に伴う作付け制限など（更別村・農業）
- ・海外の都市がロックダウンとなり、資材の入荷が遅れた（広尾町・総合工事業）
- ・対策費の増加、対策に当たる人員の手間増加（帯広市・総合工事業）
- ・資材の高騰、遅延（帯広市・総合工事業）
- ・資材価格が上昇し、民間企業の依頼が減少傾向（帯広市・総合工事業）
- ・一時期仕事量が急に減少。コロナに罹患、休業したが補償を受けられなかった。（帯広市・職別工事業）
- ・資材価格の上昇、納期遅延（中札内村・総合工事業）
- ・サービス業が影響大、売上げ減少（帯広市・農業）
- ・材料仕入価格の上昇（帯広市・設備工事業）
- ・対面での交渉等ができないため、時間と日数を要するようになった（帯広市・総合工事業）
- ・コロナ対策費の経費が多大にかかる（帯広市・職別工事業）
- ・直接影響はないが、発注者または民間施主の受注件数減少の影響はあった様子。（芽室町・総合工事業）
- ・現場を中止にせざるを得なかった（音更町・総合工事業）
- ・原材料費があがって経費があがった（帯広市・職別工事業）

問2 (2) 「拡大」「維持」と答えた事業所は対応策としてどのようなことを実施、検討していますか。

6. 「その他」

- ・自衛隊申請（帯広市・職別工事業）
- ・学校訪問（幕別町・総合工事業）
- ・説明会参加など（帯広市・総合工事業）
- ・人材紹介（帯広市・総合工事業）
- ・自社HPでの求人（帯広市・農業）

問3 (5) 季節労働者を通年雇用化するにあたり、重視することは何ですか。

8. 「その他」

- ・冬季間の仕事が確保できるか（帯広市・職別工事業）

問4 (2) 通年雇用化した際の理由は何ですか。

5. 「その他」

- ・ 冬季雇用の業務が確保できたため（帯広市・総合工事業）
- ・ 通年雇用制度の利用（帯広市・職別工事業）
- ・ 本人の希望（帯広市・総合工事業）
- ・ 若いので育てようと思ったため（帯広市・職別工事業）
- ・ 建設業の許可に必要な資格を取得したため（大樹町・総合工事業）

問4 (4) 検討の結果、国の助成金制度（通年雇用助成金など）を活用しましたか。

4. 「助成制度を活用しなかった」の理由

- ・ 申請時期が遅かった（帯広市・総合工事業）
- ・ 申請時期がずれたため（幕別町・総合工事業）
- ・ 条件に該当しなかった（幕別町・林業）
- ・ 制度の条件に該当しなかった（帯広市・職別工事業）

問5 (5) 上記以外にも資格や講習会など開催希望があれば具体的にご記入ください。

- ・ 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習（帯広市・総合工事業）
- ・ 交通誘導警備2級（帯広市・サービス業）
- ・ 接客業のための訓練（帯広市・農業）
- ・ 普通救急救命士、建設ディレクターの基礎知識（帯広市・総合工事業）

問6 協議会への要望、事業内容への意見や通年雇用化への課題や悩みなど、どのようなことでも結構です。

協議会へ皆さんの声をお寄せください。

- ・ 現在従業員は通年雇用ではありますが今後季節労働者が在籍した場合、活用したいと考えている。  
(帯広市・総合工事業)
- ・ 官庁発注の土木工事下請けのため、3～4月が業務閑散期となります。  
この時期にも安定した土木作業工事の確保が課題です。（帯広市・総合工事業）
- ・ 冬（雪のある季節）に建設工事や他の仕事がないと通年雇用が難しい状況です。（広尾町・総合工事業）